令和4年(2022年)の恵山の火山活動

札 幌 管 区 気 象 台 地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

〇噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況、2022年の発表履歴

2022 年中変更無し

噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)

○2022 年の活動概況

・噴気など表面現象の状況(図1、図2-①、図3~6)

監視カメラによる観測では、Y火口の噴気の高さは火口縁上200m以下で、噴気活動は低調に経過 しました。

10月6日に国土交通省北海道開発局の協力により上空からの観測を実施しました。前回の観測 (2021年9月)と比べて、X火口及びY火口の噴気の状況に特段の変化は認められず、赤外熱映像 装置による観測でも地熱域の状況に特段の変化はありませんでした。

11月15日に実施した現地調査では、X火口及びY火口の噴気温度に特段の変化はありませんでした。

・地震及び微動の発生状況(図2-②~③)

火山性地震は少なく、地震活動は低調な状態です。 火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況 (図2-4)

GNSS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この火山活動解説資料は、気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html

この資料は気象庁のほか、国土地理院院、北海道大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 50mメッシュ (標高)』、『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』及び『電子地形図 (タイル)』を使用しています。

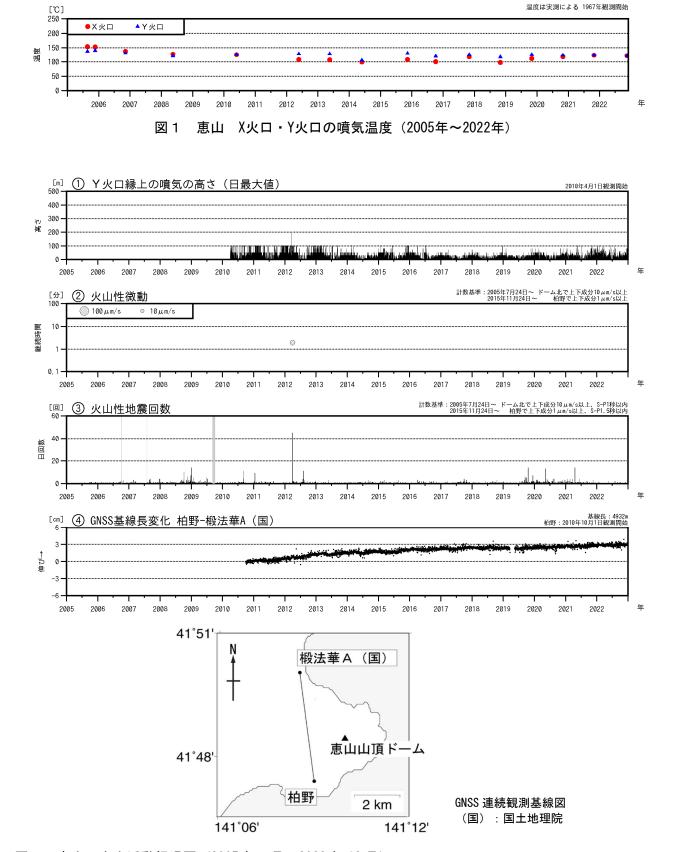


図 2 恵山 火山活動経過図(2005年7月~2022年12月) ③の灰色部分は機器障害による欠測期間を示します。

- ④のグラフは上図の基線に対応しています。
- ④のグラフの空白部分は欠測を示します。



図3 恵山 西南西側から見た山頂部の状況(常岱監視カメラによる)



図4 恵山 火口周辺図と写真及び赤外熱映像の撮影方向(矢印)

- 3 - 恵山



図5 恵山 火口周辺の状況 北西側上空(図4の①)から撮影

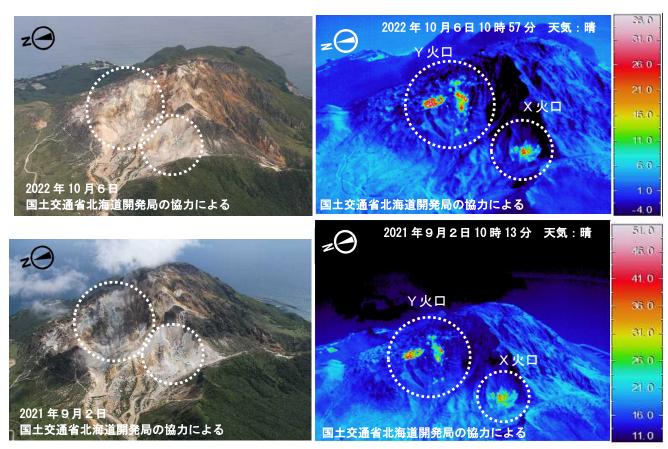


図 6 恵山 赤外熱映像装置による X 火口及び Y 火口の地表面温度分布 上:西側上空(図4の②)から撮影 下:北西側上空(図4の③)から撮影 ・前回の観測(2021年9月)と比べて、地表面温度分布に特段の変化は認められませんで した。

観測点情報

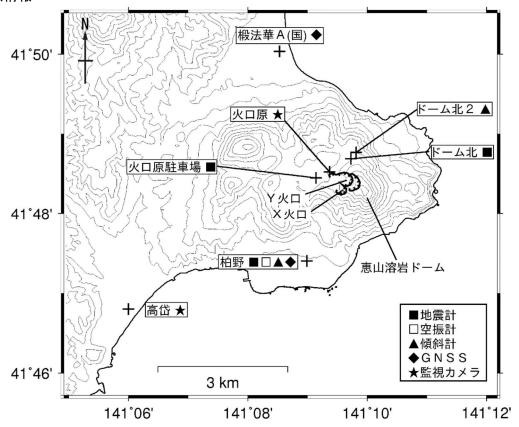


図7 恵山 観測点配置図 + 中は観測点の位置を示します。

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。

(国): 国土地理院

表 1 恵山 観測点一覧(気象庁設置分、緯度・経度は世界測地系) 記号は図7に対応しています。

	1		T					
記号	測器種類	地点名	位置					
			北緯(度分)	東経(度分)	標高(m)	設置高	観測開始日	備考
						(m)		
•	地震計	ドーム北	41 48.69	141 09. 73	364	-1	2005年7月24日	
		柏野	41 47.40	141 08.99	41	-99	2010年9月1日	
		火口原駐車場	41 48.46	141 09.15	324	-3	2016年12月1日	広帯域地震計
	空振計	柏野	41 47.40	141 08.99	41	3	2010年9月1日	
*	監視カメラ	高岱	41 46.82	141 06.00	7	13	2010年4月1日	
		火口原	41 48.52	141 09.37	351	3	2016年12月1日	可視及び熱映像
•	GNSS	柏野	41 47.40	141 08.99	41	3	2010年10月1日	
•	傾斜計	柏野	41 47.40	141 08.99	41	-99	2011年4月1日	
		ドーム北 2	41 48.77	141 09.82	381	-15	2016年12月1日	